

# 芦別市部活動改革検討協議会 提言書

令和 6 年12月

芦別市部活動改革検討協議会

## 目次

会長あいさつ.....	1
1 目標.....	3
2 目標達成のための取組.....	3
3 部活動地域移行の進め方.....	3
4 地域クラブの在り方	
① 持続可能な取組.....	4
② 実施種目.....	4
③ 活動日及び活動時間.....	4
④ 指導体制.....	5
⑤ 指導員の確保.....	5
⑥ 指導員の育成.....	5
⑦ 指導員報酬.....	6
⑧ 活動場所・物品.....	6
⑨ 移動手段.....	6
⑩ 安全管理.....	6
⑪ 地域クラブの運営財源.....	7
⑫ 地域クラブのイメージ図.....	7
5 先行実施に向けた取組.....	8
6 広域連携に向けた取組.....	8
7 今後の継続的な検討.....	8

## 資料編

資料1 芦別市部活動改革検討協議会設置規則.....	10
資料2 芦別市部活動改革検討協議会委員名簿.....	12
資料3 検討協議会これまでの取組状況.....	13
資料4 検討協議会議事概要.....	17

添付省略

## 会長あいさつ

国は、少子化の影響による中学校部活動の持続可能性や、休日を含めた部活動の指導が、教員にとって負担となっているなどの課題を踏まえ、スポーツ庁及び文化庁において検討会議を設置し、令和4年6月に「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」、令和4年8月に「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」が取りまとめられました。

また、これらの提言を踏まえ、スポーツ庁及び文化庁では、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を示しました。

このような国の動きもあり、芦別市においては、中学校の生徒にとって望ましい部活動環境の構築や地域のスポーツ・文化団体との連携による持続可能な部活動環境の整備について検討するため、令和5年10月にスポーツ団体関係者、文化団体関係者、小中学校の校長及び児童生徒の保護者、公募に応じた市民などで構成される「芦別市部活動改革検討協議会」を立ち上げました。

検討協議会では、児童生徒、保護者、教員を対象とするアンケート調査を実施するなど当事者の声を聴きながら、「部活動の地域移行は何よりも生徒のためのものである」という観点を大事にし、「子どもたちを中心とすること」を共通の視点として、11回にわたり議論を積み重ねてきました。

このたび、これまで検討協議会で議論した内容を提言書として取りまとめましたので、教育委員会におかれましてはこの内容を十分に踏まえていただき、これまで学校部活動の有してきた教育的意義を踏まえつつ、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の機会を学校と地域との連携・協働によって創出し、活動環境も生徒や保護者、教職員の負担を十分配慮しながら、持続可能なものに整備されることを期待します。

令和6年12月

芦別市部活動改革検討協議会 会長 前田 豊



## 1 目標

本市においては、中学校部活動の地域移行の観点だけではなく、幼児、小学生、中学生及び一般市民を対象に、スポーツ・文化芸術活動の機会を地域全体で支え、確保していくことを目指していただきたい。

## 2 目標達成のための取組

- ① 中学校の部活動の実施主体を学校から地域に移行していただきたい。
- ② 中学生の部活動を含めた地域のスポーツ・文化芸術活動全体を持続可能なものにするための組織として「地域クラブ」を創設していただきたい。

## 3 部活動地域移行の進め方

- ① 中学校の学校部活動を地域クラブ活動に移行する時期については、令和8年4月を目標としていただき、その受け皿となる「地域クラブ」は令和7年度中に創設していただきたい。
- ② 学校部活動の「地域クラブ」への移行については、部活動の現状や競技・種目ごとの状況等を考慮し、種目ごとに無理のないスケジュールにおいて進めていただきたい。
- ③ 令和7年度は学校部活動から地域クラブ活動への移行期間とし、教育委員会においては、学校に対して地域クラブの内容等について丁寧に説明していただき、また、学校においては、地域クラブに対して丁寧な引き継ぎを行うなど、学校と地域クラブの連携協力体制の整備に努めていただきたい。
- ④ 単独でチームを維持することが困難な団体種目については広域的な取組の観点から拠点校方式による合同部活動など、また、指導員の確保が困難な個人種目についても継続して活動ができるような環境を整えていただきたい。
- ⑤ 休日の部活動のみを移行することは、平日と休日で指導員が代わるなど、生徒にとって望ましくない場合もあるため、基本的には平日と休日の同時移行を目指していただきたい。
- ⑥ 地域クラブ活動への移行を円滑に進めるため、早急に指導員の確保に努めていただき、また、生徒が安全で安心して活動することができるよう、指導員に対して、安全の確保や事故発生時の対応、体罰やハラスメントに関する研修等を実施していただきたい。

## 4 地域クラブの在り方

### ① 持続可能な取組

少子化の中でも将来にわたり、子どもたちが好きなスポーツや文化芸術活動に親しむことができるよう、10年後、20年後を見据えた持続可能な環境づくりを行っていただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・学校と連携した体制づくりを進めていただき、教員が地域の指導員として携わりたいと思えるような地域クラブ活動とすること。
- ・生徒が安全で安心して活動することができる指導体制の整備や指導員の資質向上を図ること。
- ・指導員を安定的に確保するため、指導員に対する報酬や資格取得への支援等の仕組みを整えること。
- ・現存の学校部活動の種目に限らず、生徒の多様なニーズに応じた、「多種目」「多志向」な活動環境を整えること。
- ・世代を超えた人と人とのつながりが生まれる、「多世代」な活動環境を整えること。
- ・市の財政支援により経済的に安定した運営が可能な仕組みを整えること。

### ② 実施種目

実施種目については、学校部活動の種目を基本としながらも、生徒の多様なニーズに応えるため、複数のスポーツ・文化芸術を経験できる活動や体力づくり、あるいは楽しみを目的とするレクリエーション的な活動など、多様な活動を設置していただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・地域の団体等において指導可能な競技・種目については、地域移行を順次進めていくこと。
- ・地域移行の体制を整えたうえで、マルチスポーツやラグビーなど地域のニーズがある競技・種目を経験できるようにすること。

### ③ 活動日及び活動時間

活動日や活動時間については、「芦別市立学校における部活動の在り方に関する方針」に基づき、その範囲内で競技・種目ごとに設定していただきたい。また、持続的な活動とするために弾力的な活動時間を設定していただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・子どもの成長や発達の妨げにならないよう、休養日や活動時間とすること。
- ・平日の活動は、仕事を持っている指導員が対応可能な活動時間とすること。

#### ④ 指導体制

指導にあたっては、学校との連携が必要であるため、地域クラブと学校を切り離すのではなく、地域クラブと学校が連携した体制づくりを進めていただきたい。また、指導員については、専門種目だけでなく、様々な種目に関われるような体制づくりを進めていただきたい。

##### 【検討協議会からの主な意見】

- ・地域の指導員と教員と一緒に指導できる体制を検討すること。
- ・スポーツ全般を通して、体を動かせる地域の大人が、子どもたちの活動を多方面からサポートできるようにすること。
- ・広域的な活動であっても、地域の指導員が関われる仕組みを構築すること。

#### ⑤ 指導員の確保

持続的な指導体制の構築にあたっては、十分な指導員数の確保が必要であることから、地域の競技団体の指導員や教員、保護者など、幅広い人材から確保していただきたい。また、適切な指導ができる人材とするため、一定の要件を設けていただきたい。

##### 【検討協議会からの主な意見】

- ・指導員の募集にあたっては、ある程度の資格を取得することで、子どもの能力に応じた指導を行うことができるため、指導員は資格を有することが望ましいこと。

#### ⑥ 指導員の育成

指導員の質を高めるための研修を実施していただきたい。また、研修は指導員だけでなく保護者にも受講を促し、地域全体で活動を応援できる体制づくりを進めていただきたい。

##### 【検討協議会からの主な意見】

- ・競技力の向上とともに人間的な成長を目指した指導を行うこと。
- ・安全の確保や事故発生時の対応、体罰やハラスメントに関する研修等を実施すること。

### ⑦ 指導員報酬

地域クラブ活動において、生徒に対する、安全で責任ある指導を求めるためにも、指導員のボランティア(自発的、自由意志)のみを求めることなく、指導員への報酬について、一定の基準を設定していただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・指導員報酬については種目ごとにバラバラではなくある程度の基準が必要であること。
- ・指導体制を維持するために適切な報酬が必要であり、どのような方が実施する場合も、必要とする経費として指導員配置の経費(人件費)の投入が必要となること。

### ⑧ 活動場所・物品

活動場所については、学校施設や体育施設などの公共施設を使用できるようにしていただきたい。また、地域クラブ活動に必要な物品類の整備・維持管理については、生徒の負担にならないよう、これまでどおり学校において行っていただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・活動場所については、生徒の移動や保護者の送迎など、新たな負担が生じないように、学校施設を利用できるようにすること。
- ・市内の体育施設や文化施設についても有効に活用すること。
- ・学校部活動と同様のかたちで備品や消耗品を使用できるようにすること。

### ⑨ 移動手段

他の市町との広域連携になった場合は、保護者による送迎が困難なことから、移動手段を確保していただくなど送迎に関して支援をしていただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・他の市町との広域連携になった場合、移動手段としてスクールバス等が使えると良い、また、交通費助成など経済的な支援があると望ましいこと。

### ⑩ 安全管理

生徒や指導員等の怪我や事故等を補償する保険への加入やトラブル等が発生した場合の相談体制を整備していただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・怪我をさせてしまったりした際の対応が必要であること。
- ・トラブルがあった際の相談窓口が必要であること。



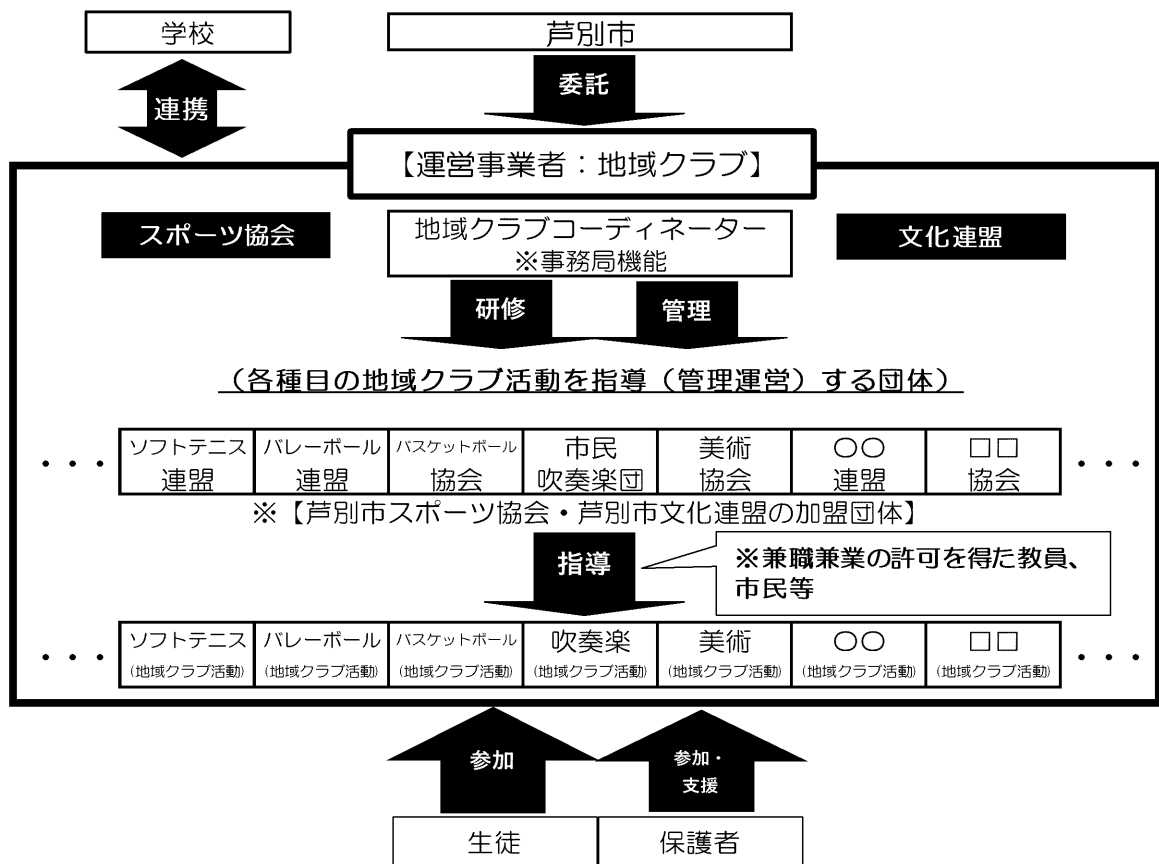
### ⑪ 地域クラブの運営財源

市からの財政支援や国や道の補助金、参加者からの受益者負担により、保護者への過度な負担にならないよう配慮していただきたい。

#### 【検討協議会からの主な意見】

- ・家庭の経済状況によらず、目標や才能を開花させられる活動とすること。
- ・市において検討している予算を明確にすること。

### ⑫ 地域クラブのイメージ図



#### ※イメージ図の説明

- ① 地域クラブ活動については、市の事業として、その運営事業者となる地域クラブに係る業務を委託する。
- ② 地域クラブコーディネーターが中心となって、学校などの関係団体と連携した運営体制を構築する。
- ③ 地域クラブ活動の指導は、スポーツ協会及び文化連盟の加盟団体が中心となって担い、必要に応じて市民団体等と連携する。
- ④ 指導員については、指導を希望する教員や市民など、幅広く募集し、十分な指導体制を構築する。

## 5 先行実施に向けた取組

部活動の地域移行を円滑に進めるためには、指導員や生徒の事故やケガをした際の保障やトラブル対応等について検討する必要があることから、事業検証を目的とした先行事業を実施していただきたい。

### 【検討協議会からの主な意見】

- ・先行実施を進めていく中で、地域移行に向けた体制を検討すること。
- ・可能な種目から先行実施を行い、種目ごとに課題を抽出する必要があること。

## 6 広域連携に向けた取組

少子化に伴う部活動所属生徒数の減少等により、今後も様々な競技・種目において単独で活動を維持していくことが困難になることが予想されることから、近隣市町との連携により、子どもたちが継続して参加できる環境を確保していただきたい。

### 【検討協議会からの主な意見】

- ・部員数の減少等により、本市単独で維持することが困難な競技・種目や指導者の確保が困難な競技・種目については、他市や町と連携を図るなど、広域的な視点をもって取り組むこと。

## 7 今後の継続的な検討

生徒にとってのスポーツや文化芸術活動の体験機会の確保や、教員の働き方改革から、現行の部活動を地域クラブ活動へと移行していく際には、地域で関わる方たちの意向も尊重し、考慮していく必要がある。また、今後、「子どもたちを中心とすること」の視点から、より良い環境の整備を進めていくためにも、さらに深い議論が重要である。

芦別市らしい地域クラブの創設に向けては、今後においても多くの方の意見を取り入れながら、進めていただきたい。

### 【検討協議会からの主な意見】

- ・まずは総論としての「提言書」の作成・検討を進めていただき、各論・細論については、提言書提出後の協議会で時間をかけて検討する必要があることから、提言書提出後の議事内容・スケジュールを示す必要があること。

以上